

次世代自動車センター活動レポート Vol.170

■ 2022年度 デジタルものづくり対応関連講座
サイバーセキュリティ対策ワークショップ（会員限定）

近年のデジタル化の進展に伴って、外部からのサイバー攻撃による工場の操業停止や個人情報流出などの被害が急増しています。

特に最近では、仕入先の部品メーカーが被害を受けたことにより、大手完成車メーカーの生産が停止するなど、サプライチェーン全体に影響する事例も発生しており、製造業にとってもサイバーセキュリティ対策の強化が急務となっていますが、多くの中小企業では「自社のような規模の企業は大丈夫」「具体的に何をしたらよいかわからない」などの理由で、対策・対応が遅れています。

次世代自動車センター浜松では、「サイバー攻撃が発生した場合にどのような対応を迫られるか」や「サイバー攻撃の被害の低減や復旧の迅速化のための対策の立て方」などについて、当センターの仲元コーディネーターが講師となり、事例などをもとにサイバー攻撃対応の模擬体験やサイバーセキュリティBCPの策定演習を内容として、参加企業の皆様が自ら考えながら学ぶ「サイバーセキュリティ対策ワークショップ」を開催しました。

- 日 時 : 令和5年2月13日(月) 13時30分～16時30分
- 場 所 : (公財)浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室
- 参加者 : 4社/8名

<開会>



<ワーク1:サイバー攻撃対応の模擬体験>



<ワーク2:サイバーセキュリティBCPの策定演習>



<まとめ>



本日のまとめ (1/4)

- セキュリティの目的は「事業の継続 (BC: Business Continuity)」と「IS/DC (IT) の確保」
- サイバーセキュリティは「2つの観点」での対策が必要
 - (1) 未然防止: 所定サイバーセキュリティ対策(ウイルス対策等)但し100%の防止は不可能。
 - (2) 被害軽減/復旧迅速化: 未着手の企業が多いが、被害発生時の迅速な対応からBCP策定の中点高めで対応すると良い。

© Safety/Security/Quali/Innovation/DS/Innovation/Innovation/Innovation/Innovation/Innovation

【参加者の声】

(全体)

- ・改めてセキュリティ、BCP を考え直す機会となった。
- ・サイバー攻撃に対する模擬体験は大変興味深かった。
- ・全体を見直す必要を感じた。
- ・説明がわかりやすかった。
- ・サイバー攻撃の模擬体験として参加した。5分という短い時間での対応の難しさと事前準備の必要性を考えるよい機会になった。
- ・ケーススタディでリアルな体験ができた。リスクの再認識ができた。
- ・ワーク 1、2 とその解説と全体の講義の構成もよかった。

(ワーク 1)

- ・まず何をすべきか、事例を交えて展開していったので、わかりやすかった。
- ・自社のセキュリティ対策の参考にしたい。
- ・具体的な内容で参考になった。
- ・限られた時間での対応の難しさも体験でき、参考になった。

(ワーク 2)

- ・サイバーセキュリティに対する BCP でやるべき内容、把握しておくべき内容がわかった。社内システムを改めて見直して、取り組んでいこうと思う。
- ・BCP についての進め方の参考になった。
- ・やるべきことの優先順位を考えることができた。